

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	小池 勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
一般的に「ホスピタリティ」は、「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるものとして混同、誤解されている場合が多い。本講義では様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違い、「相手の立場になって、考え、行動する」というホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
サービスは一定水準の対応をする「1 人对多数」の技術であるのに対し、ホスピタリティは「1 人对 1 人」の関係構築能力である。ホスピタリティの本質を理解できるようにする。
学修成果
ホスピタリティの精神を身に付け、社会生活の中で実践できるようになる。画一的な対応ではなく、相手の真意に合わせて感情をコントロールしながら自律的な行動が取れる人材になる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	旅客運送業の Web サイトを調べる
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「ホスピタリティ論」を学ぶのか？		授業計画	②業界・職業研究／「バス・鉄道・航空業界」の仕事について
	事後学習	生活の中でホスピタリティを探す		事後学習	旅客運送業界を理解する
2	事前学習	サービスとは何かを調べる	10	事前学習	宿泊業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「社会のサービス化とは」モノ消費からコト消費、イミ消費の時代へ		授業計画	③業界・職業研究／「旅館・ホテル業界」の仕事について
	事後学習	消費スタイルの変遷を理解する		事後学習	宿泊業界を理解する
3	事前学習	サービスの商品例を調べる	11	事前学習	テーマパークの Web サイトを調べる
	授業計画	「商品としてのサービス」サービスとは何か？		授業計画	④業界・職業研究／「テーマパーク」の仕事について
	事後学習	なぜサービスを買うのかを理解する		事後学習	テーマパーク業界を理解する
4	事前学習	サービスの評価方法を調べる	12	事前学習	飲食小売業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「サービス品質とは？」サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	⑤業界・職業研究／「飲食・小売り業界」の仕事について
	事後学習	サービスの良し悪しを理解する		事後学習	飲食小売業界を理解する
5	事前学習	ホスピタリティとは何かを調べる	13	事前学習	冠婚葬祭業界の Web サイトを調べる
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	⑥業界・職業研究／「冠婚葬祭業界」の仕事について
	事後学習	ホスピタリティの定義を理解する		事後学習	冠婚葬祭業界を理解する
6	事前学習	組織文化とは何かについて調べる	14	事前学習	これまでの講義のノート整理
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	組織文化とは何かを理解する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	ホスピタリティ産業とは何か調べる	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	「ホスピタリティ産業の未来」現状と今後の課題		授業計画	期末試験
	事後学習	ホスピタリティ産業の課題を知る		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	旅行業界の Web サイトを調べる			
	授業計画	①業界・職業研究／「旅行業界」の仕事について			
	事後学習	旅行業界を理解する			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
出版社

参考書 著者名
タイトル 新聞、Web サイトなどから適宜引用
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	小池 勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
前期のホスピタリティⅠで学んだことをベースに、「サービス」や「ホスピタリティ」がお客様や従業員自身に与える様々な影響を考察する。その上で、日本の「おもてなし」や西欧の「ホスピタリティ」の心がどこから生まれてきているのか、その歴史や文化的な背景を学び、「ホスピタリティ」とは何かを、より深く学んでいく。
達成目標
ホスピタリティの学びを通じて、仕事をお客様のためだけでなく、自分のため、会社のため、社会のためと重ねて捉える考え方を理解する。そして同時に、マーケティングにおけるホスピタリティの重要性を理解する。
学修成果
ホスピタリティの精神を身に付け、社会生活の中で実践できるようになる。画一的な対応ではなく、相手の真意に合わせて感情をコントロールしながら自律的な行動が取れる人材になる。

授業計画

1	事前学習	前期の学習内容を復習しておく	9	事前学習	観光における日本の魅力を考える
	授業計画	講義ガイダンス 「ホスピタリティⅠ」の振り返り		授業計画	ホスピタリティとおもてなし 訪日外国人誘客に与える影響について
	事後学習	ホスピタリティの意味を再確認する		事後学習	おもてなしの長所と短所を理解する
2	事前学習	やりがいとは何かを考えておく	10	事前学習	4P 分析を復習しておく
	授業計画	「感情労働」とは何か 接客活動における感情のコントロール		授業計画	ホスピタリティが「製品」に与える影響 について 事例から考える
	事後学習	感情管理の重要性を理解する		事後学習	付加価値について理解する
3	事前学習	良いサービスの事例を考える	11	事前学習	顧客は何に対して対価を払うのか
	授業計画	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い 提供のプロセスを理解する		授業計画	ホスピタリティが「価格」に与える影響 について 事例から考える
	事後学習	1 対多と 1 対 1 の違いを理解する		事後学習	なぜ高価でも買ってしまうのか
4	事前学習	お客様とはどのような人かを考える	12	事前学習	「無人化」の長所短所を考える
	授業計画	「顧客」とは誰か 顧客の立場になって考え行動する		授業計画	ホスピタリティが「流通」に与える影響 について 事例から考える
	事後学習	顧客の視点を理解する		事後学習	流通に人間が介在する意味とは
5	事前学習	「品質」の意味を調べる	13	事前学習	製品購入の決め手は何かを考える
	授業計画	サービス品質を考える「真実の瞬間」 評判はどう生まれるのか		授業計画	ホスピタリティが「販売促進」に与える 影響について 事例から考える
	事後学習	身近な「真実の瞬間」を考えてみる		事後学習	ホスピタリティは販売促進に有効か
6	事前学習	顧客が満足する要素を調べる	14	事前学習	ホスピタリティの重要性を整理する
	授業計画	顧客満足と顧客エンゲージメント 顧客と企業の結びつきを考える		授業計画	後期振り返り 現代ビジネスにおける ホスピタリティの重要性について
	事後学習	「顧客満足」の重要性を理解する		事後学習	ホスピタリティが注目される理由
7	事前学習	従業員が満足する要素を調べる	15	事前学習	重要語句の意味を整理しておく
	授業計画	従業員満足と従業員エンゲージメント 従業員と企業の結びつきを考える		授業計画	定期試験 ホスピタリティがマーケテ ィングに与える影響について考える
	事後学習	「従業員満足」の重要性を理解する		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	企業の存在価値とは何かを考える			
	授業計画	地域社会とホスピタリティ 企業と地域社会の結びつきを考える			
	事後学習	企業の存在価値を理解する			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
出版社

参考書 著者名
タイトル 新聞、Web サイトなどから適宜引用
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	マーケティング I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	谷口 幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング		

講義概要
ビジネスにおいて「顧客の欲する商品サービスを提供すること」は企業にとって当然の使命となる。そのため「どのような仕組みや仕掛けによってそれを実現するか」を考え、実行することが重要。当該講義ではビジネスパーソンとして活躍するためのマーケティング知識・情報を習得することを目的とする。
達成目標
(1) 基礎用語に慣れる：ビジネス用語はもとより、マーケティングに関する基礎・専門用語に慣れる。(2) 定義をおさえる：ビジネスシーンで使われる事象や定義をおさえる。
学修成果
達成目標をふまえ、日々の会話・メディアを通して目に触れるビジネス・マーケティングに関する情報にふれ、どのような内容かを理解できる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事例調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティングの定義」		授業計画	人を理解する3つの視点②「価値観」：「価値」「価値観」「価値基準」
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	自分にとって価値あるもの
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	コトラーの「価値基準」
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティングの必要性」		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値①：「4つのコスト」
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	自分が感じるコスト
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	自分が感じるベネフィット
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値②：「5つのベネフィット」
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	特定商品に感じるベネフィット
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	購買に影響を与える要素
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	購買行動に影響を与える「5つの要素」とは
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	自分の購買に影響を与えるもの
5	事前学習	欲求	13	事前学習	購買活動に関する情報処理
	授業計画	「人」の層別理解と、人を理解する3つの視点①「欲求」		授業計画	①消費者情報処理モデル②購買行動の基本 (AIDMA など)
	事後学習	自身が抱く欲求を明確にする		事後学習	自分が商品を買うまでを図解
6	事前学習	商品サービスを5つの欲求に分類	14	事前学習	前回までの講義の復習
	授業計画	「マズローの欲求階層説・自己実現論」と演習		授業計画	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	ニーズとウォンツ		事後学習	配布資料の見直し
7	事前学習	欲求階層説・自己実現論の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	人を理解する3つの視点①「欲求」：「ニーズ」と「ウォンツ」		授業計画	定期試験
	事後学習	欲求階層とニーズの関連性		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	ニーズとウォンツの関連性			
	授業計画	「マーケットイン」と「プロダクトアウト」			
	事後学習	ウォンツをデマンズに進化させる			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70%

教科書	著者名	大山秀一
	タイトル	これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
	出版社	フォレスト出版
参考書	著者名	原尻淳一
	タイトル	マーケティング・フレームワーク
	出版社	日本経済新聞出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	谷口 幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング		

講義概要
前期同様に「用語」や「定義」をおさえ、マーケティング全般に関する知識を修めるとともに、就職活動や採用後の実践（現場）において「どのように学んだことを活用できるか？」を想定しながら演習を行う。演習については個人・ペア・チーム形式をとり、積極的な発言や取組みが求められる。
達成目標
(1) 前期に修めたものも踏まえ、用語・定義をおさえる。(2) マーケティングマインドを養う。(3) 就職活動における研究分析でも活かせるようにする。
学修成果
マーケティングマインド（マーケティング視点・思考）によって、ビジネス・業界・企業・消費者などの捉え方を増やし、自身がどのようなビジネスパーソンとなるかの軸を作る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ブランドとブランドイメージの違い
	授業計画	①顧客満足②顧客生涯価値③CRM		授業計画	「ブランド」とは何か（企業・商品サービスなど）①
	事後学習	ES（従業員満足度）		事後学習	ブランドがあると思う商品サービス
2	事前学習	顧客インサイト	10	事前学習	ブランディング
	授業計画	①カスタマーエクスペリエンス②顧客のペルソナ		授業計画	「ブランド」とは何か（ブランディング）②
	事後学習	自分をペルソナ化		事後学習	自分をブランディング
3	事前学習	マーケティングの歴史	11	事前学習	費用・予算・投資とは
	授業計画	近代マーケティングの変遷（マーケティング 1.0～4.0）		授業計画	マーケティングにおける ROI（費用対効果／投資利益率）
	事後学習	マーケティングの本質		事後学習	テキスト見直し
4	事前学習	マーケティングの種類	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	マーケティングの種類と体系（各種マーケティング紹介）		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	マーケティング・ミックス		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	プロダクトサイクル	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	特定商品のプロダクトサイクル調査		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	財の体系化	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング②		授業計画	第 1 回目～第 13 回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	商品群の財の体系化		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	広告と広報の違い	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）①		授業計画	定期試験
	事後学習	PC 画面の広告とスマホ画面の広告		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	リーチとは			
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）②			
	事後学習	プロモーションミックスとは			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70%

教科書	著者名	大山秀一
	タイトル	これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
	出版社	フォレスト出版
参考書	著者名	原尻淳一
	タイトル	マーケティング・フレームワーク
	出版社	日本経済新聞出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	経営学 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	島 裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化、リーダーシップなどの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進め、①イノベーション論、②マーケティング論を学ぶ。ビジネスに興味を持てるような身近な実例を紹介する。
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。
学修成果
経営学で得られた知識は社会生活で解決困難な課題に直面した際の解決の方向性を指し示す道標になる。また経済学をさらに深く学びたい学生の基礎にもなる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる 21 世紀の変化 (VUCA の時代)		授業計画	マーケティング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の復習		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営学とは何か?、経営学の基本 6 分野と歴史		授業計画	マーケティング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	課題: 経営学基本 6 分野とは?		事後学習	マーケティング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	会社の役割とは何か		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	変革型リーダーの経営とは?		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	リーダーシップ論、イノベーションの意味		授業計画	持続可能な開発目標 SDGs、エシカル消費について
	事後学習	センスメーカー型リーダーとは?		事後学習	SDGs の事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの歴史、基本プロセス		授業計画	期末試験のポイント整理
	事後学習	イノベーションの基本プロセスとは		事後学習	試験勉強
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の振り返り
	授業計画	デザイン思考、プロトタイプング手法		授業計画	定期試験
	事後学習	デザイン思考とアート思考		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法 出席状況: 40% 定期試験: 50% < (課題評価) > : 10%

教科書	著者名	中川 功一
	タイトル	日常が学びに変わる! 経営学の本
	出版社	翔泳社
参考書	著者名	沼上 幹
	タイトル	ゼロからの経営戦略
	出版社	ミネルバ書房

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	島 裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに企業の経営実例を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①経営戦略論、②組織行動論、④経営組織論。
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。
学修成果
経営学で得られた知識は社会生活で解決困難な課題に直面した際の解決の方向性を指し示す道標になる。また経済学をさらに深く学びたい学生の基礎にもなる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の復習
	授業計画	オリエンテーション、前期の復習		授業計画	機能別組織と事業部制組織
	事後学習	前期の振り返り		事後学習	機能別と事業部組織の機能の違い
2	事前学習	配布資料の見直し	10	事前学習	9 限目の復習
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、Win-Win の戦略		授業計画	組織の動かし方--官僚制と有機的組織
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略		事後学習	官僚制、有機的組織の特徴とは
3	事前学習	2 限目の復習	11	事前学習	10 限目の復習
	授業計画	経営戦略で大切なのは知的な鋭さよりもハートの熱さ:センスメーカー		授業計画	人を動かすための手段--マネジメントコントロール
	事後学習	センスメーカーの活用例		事後学習	3つの手段とは
4	事前学習	3 限目の復習	12	事前学習	11 限目の復習
	授業計画	働き方を考える組織行動論とは、マズローの欲求 5 段階説		授業計画	何のために目標を達成するのか---評価制度
	事後学習	自己決定の理論 SDT とは		事後学習	目標管理ツールは何か
5	事前学習	4 限目の復習	13	事前学習	12 限目の復習
	授業計画	キャリアアンカーの考え方、進捗管理の基本 PDCA		授業計画	複数事業を管理するポートフォリオ管理
	事後学習	自分のキャリアアンカーを考える		事後学習	ポートフォリオ分析とは
6	事前学習	5 限目の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	サイモンの意思決定理論、		授業計画	期末試験のポイント整理
	事後学習	個人の意思決定には限界があるか		事後学習	試験勉強
7	事前学習	6 限目の復習	15	事前学習	全講義の振り返り
	授業計画	組織均衡の考え方、チームでのパフォーマンスを高めるグループシンク		授業計画	定期試験
	事後学習	チーム力を高めるには		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の復習			
	授業計画	経営組織論とは、組織づくりの基本--分業と調整			
	事後学習	分業と調整とは？			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：50% < (課題、小テスト) >：10%

教科書	著者名	中川功一
	タイトル	日常が学びに変わる！ 経営学の本
参考書	出版社	翔泳社
	著者名	沼上 幹
	タイトル	ゼロからの経営戦略
	出版社	ミネルバ書房

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナー I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 38 年 イメージコンサルタント歴 16 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師歴 11 年		

講義概要	ビジネスシーンでの身だしなみや、最低限守るべきマナー・ルールを学ぶ。学生と社会人の違いを意識し、日本社会で信頼され活躍出来る人材育成を行う。また多国籍集団の中で、良好な人間関係を築くための対面及びオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標	ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来る。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話対応の基本知識を理解し実践する。
学修成果	ビジネスマナーの基礎を学習することで、相手に対して敬意を表す様々な方法を身につけ実践できるようになる。目上の相手に対して失礼のない態度をとれるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人紹介準備
	授業計画	講義ガイダンス 学習目的を理解し目標を立てる		授業計画	指示の受け方 報告・連絡・相談 6 W4H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	自己紹介メモ提出前整備
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表印刷
	授業計画	未来を意識した「自己紹介」の考え方と準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本 敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	「自己紹介」の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを 5 つの観点で比較・考察		授業計画	敬語の使い分け 内と外 間違いやすい敬語
	事後学習	他者の自己紹介メモ整備		事後学習	敬語置き換え一覧書き写し
4	事前学習	身支度行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任 第一印象の重要性 メラビアン法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	講義内容を 200 字でまとめる		事後学習	敬語会話の実践報告書作成
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業 HP を検索
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い スーツの正しい着方 準備と手入れ方法		授業計画	電話対応① 電話のかけ方マナー 電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を書く
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話対応会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀の仕方・入退出動作		授業計画	電話対応② 電話の取り次ぎ 状況別対応シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間の壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	日本企業におけるタテ組織・ヨコ組織 人間関係構築の基本		授業計画	期末試験
	事後学習	役職名問題を解く		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	これまでの配布資料整備		事前学習	
	授業計画	シーン別挨拶の実習 オンライン画面の映り方イメージアップ法		授業計画	
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題提出) >：20%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリント等を配布
出版社
参考書 著者名
タイトル 複数の参考書や Web サイトより適宜引用
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 38 年 イメージコンサルタント歴 16 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師歴 11 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。
学修成果
社会人常識マナー検定 3 級に挑戦し、基礎学力を向上させ、自己肯定感を高める。進路に向けての企業研究や自己との対話を通して、主体的に行動できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識 コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り、後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識 同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識 ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法 情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識 反対の意味の言葉	11	事前学習	社会常識 ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント 基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識 ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識 賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接 ロールプレイング 入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習 30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識 総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究 ①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接 ロールプレイング 自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識 カタカナ用語	14	事前学習	社会常識 総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接 ロールプレイング 学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識 ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	社会常識 コミュニケーション問題		事前学習	社会常識 コミュニケーション問題
	授業計画	他者評価分析 長所・強み・短所・弱みに落とし込む		授業計画	他者評価分析 長所・強み・短所・弱みに落とし込む
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く		事後学習	自己 PR を 250 字で書く

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：20%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリント等を配布
出版社

参考書 著者名
タイトル 令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験 最新過去問題集 3 級
出版社 公益社団法人 全国経理教育協会

年度	2022年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーション I	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼンテーションを学問として捉え、基礎知識理解及びアウトライン作成をいちばんの目的としている。目的や聴き手を意識した内容作成及び論理的な事例に基づくアウトライン作成を学習した上で、プレゼンテーションの心構えを理解し適切な仕組み作りができる学習内容となっている。
達成目標
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面において、言葉遣いや構成などを体系的に理解した上で適切に表現できるようにする。また、プレゼンテーションの基礎知識を習得し、簡単な発表ができる。
学修成果
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面で適切な表現ができる。目的や聴き手分析をした上で論理的な表現ができる。パワーポイントを活用した資料作成ができる。

授業計画

1	事前学習	プレゼンテーション用語確認	9	事前学習	ロジカルストーリーの作成
	授業計画	プレゼンテーションをはじめよう(目的と成功の法則)		授業計画	シナリオの構築⑤(多様なシナリオ演繹法と弁証法)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	目標達成計画表の作成	10	事前学習	演繹法と弁証法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析①(目的と目標分析)		授業計画	シナリオの構築⑥(多様なシナリオ帰納法と論理法)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	男女や国籍などの違い一覧作成	11	事前学習	帰納法と論理法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析②(聴き手分析と多様な価値観)		授業計画	デリバリー①(プレゼン流伝わる敬語と抑揚)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
4	事前学習	プレゼンのリスク一覧作成	12	事前学習	敬語練習文作成
	授業計画	プレゼンにおける3P分析③(場所と環境におけるリスク対策)		授業計画	デリバリー②(効果的な3つの用途別ボディランゲージ)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ドラマとプレゼンの違い探し	13	事前学習	国の違いによるジェスチャー調査
	授業計画	シナリオの構築①(三部構成の納得マジック)		授業計画	発表準備(アウトライン作成と表現法振り返り)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	発表準備
6	事前学習	三部構成文章作成①	14	事前学習	発表準備
	授業計画	シナリオの構築②(イントロダクションと第一印象)		授業計画	プレゼンテーション発表「2022年すすめたい○○」
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	三部構成文章作成②	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	シナリオの構築③(ボディにおけるロジックと客観的データの重要性)		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	印象の良い挨拶			
	授業計画	シナリオの構築④(コンクルージョンと想いの構築)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <(発表)>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 八幡紕芦史
タイトル パーフェクトプレゼンテーション
出版社 アクセス・ビジネス・コンサルティング会社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼン場面で「意図ある表現」ができる構成力を養うことを目的としている。そのため、前半はスピーチ発表を行い、表現力とメッセージの重要性の理解に努める。後半は社内プレゼンをテーマとし、会社側のニーズを踏まえた相手主体の発表内容作成ができる学習内容とする。
達成目標
メッセージを伝えるために必要な表現力（声量・アクセント）や構成的なスピーチができる。ビジネス場面で、相手のニーズに応じたプレゼン（スライド使用・ビジネス用語）ができる。
学修成果
スピーチ学習を通じた表現力向上ができる。ビジネス場面での提案ルール・資料作成法・論理的構成を理解し、会社での提案等ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	スピーチ表現方法確認	9	事前学習	学校情報をパンフで確認
	授業計画	スピーチ表現①声量やアクセント、スピード（映像から比較し表現理解）		授業計画	プレゼンテーション③発表準備（「学校説明」発表をグループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ映像を確認	10	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現②表現練習（複数スピーチ映像を真似て適切な表現を理解）		授業計画	プレゼンテーション④発表「学校説明」（発表、採点、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
3	事前学習	商品広告やCMを確認	11	事前学習	社内プレゼン情報収集
	授業計画	スピーチ表現③メッセージの重要性（広告やCMを事例に比較理解）		授業計画	プレゼンテーション⑤社内プレゼン概論（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	課題テーマの情報収集	12	事前学習	提案の構成内容を確認
	授業計画	スピーチ表現④メッセージ作成（複数テーマのメッセージ及び構成作成）		授業計画	プレゼンテーション⑥社内プレゼンスライド（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	発表テーマ選定	13	事前学習	テーマ情報収集
	授業計画	スピーチ表現⑤発表準備（テーマ選定、メッセージ、構成、表現練習）		授業計画	プレゼンテーション⑦発表準備（スライドやセリフ等グループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	発表準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現⑥スピーチコンテスト（発表、採点評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表「セブンイレブンでの新サービス提案」
	事後学習	自己発表内容振り返り		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	前回のプレゼン講義内容確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション①プレゼン復習（概要及び専門用語）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	課題情報収集			
	授業計画	プレゼンテーション②メディアリサーチ（発表に必要な情報収集方法）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（発表）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 佐々木繁範
タイトル 思いが伝わる心が動くスピーチの教科書
出版社 ダイアモンド社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	外国語（英語）I	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この授業では、自己紹介や、学校での活動について、また家族についてや、自身の習慣など、日常的に話すであろう簡易なトピックについて英語で話せるよう講義を行う。講義内容については全て英語で行うと共に、欧米交流を目的としているため、海外提携先大学とのオンライン交流授業も実施する。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、基礎的な文法について理解を深め、単語や短い文章を使用して、外国人との英語でのコミュニケーションを楽しめるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	講義ガイダンス Classroom Englishについて紹介		授業計画	Unit6 I ride my bike to school.
	事後学習	上記内容について復習		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	クラス英語復習	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit1 What's your name?		授業計画	PROGRESS CHECK
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit2 Where are my keys?		授業計画	Unit7 Does it have a view?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	PROGRESS CHECK		授業計画	Unit8 Where do you work?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit3 Where are you from?		授業計画	復習：Unit1-Unit4
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit4 Is this coat yours?		授業計画	復習：Unit5-Unit8
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	PROGRESS CHECK		授業計画	期末試験
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読		事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit5 What time is it?		授業計画	
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名 Jack C. Richards, Jonathan Hull, Susan Proctor
タイトル Interchange 5th Edition Intro
出版社 CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	外国語（英語）Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この授業では、自己紹介や、学校での活動について、また家族についてや、自身の習慣など、日常的に話すであろう簡易なトピックについて英語で話せるよう講義を行う。講義内容については全て英語で行うと共に、欧米交流を目的としているため、海外提携先大学とのオンライン交流授業も実施する。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、基礎的な文法について理解を深め、単語や短い文章を使用して、外国人との英語でのコミュニケーションを楽しめるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	講義ガイダンス		授業計画	Unit14 I had a good time.
	事後学習	ガイダンス内容復習		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	ガイダンス内容復習	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit9 I always eat breakfast.		授業計画	PROGRESS CHECK
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit10 What sports do you like?		授業計画	Unit15 Where were you born?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	PROGRESS CHECK		授業計画	Unit16 Can I take a message?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit11 I'm going to have a party.		授業計画	復習：Unit9-Unit12
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	Unit12 How do you feel?		授業計画	復習：Unit13-Unit16
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	PROGRESS CHECK		授業計画	期末試験
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読			
	授業計画	Unit13 How do I get there?			
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	竹内 文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するためのおもてなし英会話をシーン別に学びます。困っている旅行者を助けたり日本についての紹介に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的に習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の丁寧な表現に慣れる ・おもてなしに必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ
学修成果
言語に関わらず、困っている人を助けたり自分のことや文化について自信を持って伝えられる知識とコミュニケーション力を身につける。

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	自己紹介とシラバスの確認		授業計画	Chapter 3 日本の印象を聞く (1)
	事後学習	テキストの確認		事後学習	授業内容を復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 1 旅行者に話しかける (1)		授業計画	Chapter 3 日本の印象を聞く (2)
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	授業内容を復習
3	事前学習	授業内容を復習	11	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 1 旅行者に話しかける (2)		授業計画	Chapter 3 日本の印象を聞く (3)
	事後学習	ペアで会話練習		事後学習	授業内容を復習
4	事前学習	ペアで会話練習	12	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 3 日本の印象を聞く (4)
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	ペアで会話練習
5	事前学習	授業内容を復習	13	事前学習	ペアで会話練習
	授業計画	Chapter 2 道案内 (1)		授業計画	Chapter 3 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	授業内容を復習
6	事前学習	授業内容を復習	14	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 2 道案内 (2)		授業計画	これまでの復習と期末試験準備
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	授業内容を復習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	Chapter 2 道案内 (3)		授業計画	期末試験
	事後学習	ペアで会話練習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ペアで会話練習			
	授業計画	Chapter 2 ペアでのダイアログ発表			
	事後学習	授業内容を復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：20% < (発表) >：50%

教科書	著者名	デイビット・セイン
	タイトル	おもてなし英会話検定
	出版社	祥伝社
参考書	著者名	スティーブン・リッチモンド
	タイトル	世界をもてなすシンプル英会話
	出版社	Gakken

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	竹内 文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するためのおもてなし英会話をシーン別に学びます。困っている旅行者を助けたり日本についての紹介に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的に習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の丁寧な表現に慣れる ・おもてなしに必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ
学修成果
言語に関わらず、困っている人を助けたり自分のことや文化について自信を持って伝えられる知識とコミュニケーション力を身につける。

授業計画

1	事前学習	前期授業内容を復習	9	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	前期授業内容を復習		授業計画	Chapter 6 日本の文化を説明する(1)
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	授業内容を復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 4 電車の乗り換えを教える(1)		授業計画	Chapter 6 日本の文化を説明する(2)
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	授業内容を復習
3	事前学習	授業内容を復習	11	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 4 電車の乗り換えを教える(2)		授業計画	Chapter 6 日本の文化を説明する(3)
	事後学習	ペアで会話練習		事後学習	授業内容を復習
4	事前学習	ペアで会話練習	12	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 4 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 6 日本の文化を説明する(4)
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	ペアで会話練習
5	事前学習	授業内容を復習	13	事前学習	ペアで会話練習
	授業計画	Chapter 5 困っている人を手伝える(1)		授業計画	Chapter 6 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	授業内容を復習
6	事前学習	授業内容を復習	14	事前学習	授業内容を復習
	授業計画	Chapter 5 困っている人を手伝える(2)		授業計画	これまでの復習と期末試験準備
	事後学習	授業内容を復習		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	授業内容を復習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	Chapter 5 困っている人を手伝える(3)		授業計画	期末試験
	事後学習	ペアで会話練習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ペアで会話練習			
	授業計画	Chapter 5 ペアでのダイアログ発表			
	事後学習	授業内容を復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：20% < (発表) >：50%

教科書	著者名	デイビット・セイン
	タイトル	おもてなし英会話検定
	出版社	祥伝社
参考書	著者名	スティーブン・リッチモンド
	タイトル	世界をもてなすシンプル英会話
	出版社	Gakken

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	簿記 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	篠崎 誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
簿記の学習内容の理解度を示すものとして検定試験がある。このコースでは企業会計の基礎を理解しているかどうかを示す全経簿記検定の3級合格を目標とする。
学修成果
簿記のスキルをきちんと理解し、一連の会計手続きが理解できるか知識を習得する。また、貸借対照表・損益計算書の報告内容が理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記・簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か 意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の5要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳 現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳 分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入 簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳 後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし、勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳 約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法を理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳 商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B)の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：50% <（課題）>：10%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式テキスト3級
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	ネットスクール株式会社
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集3級
	出版社	ネットスクール出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	篠崎 誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
簿記の学習内容の理解度を示すものとして検定試験がある。このコースでは企業会計の基礎を理解しているかどうかを示す全経簿記検定の3級合格を目標とする。
学修成果
簿記のスキルをきちんと理解し、一連の会計手続きが理解できるか知識を習得する。また、貸借対照表・損益計算書の報告内容が理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権・電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（3）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権・債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表 簿記Ⅰの具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳 固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表 総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か 事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳 株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1） 損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権・債務の記帳 これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（2） 貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票 証ひょうの会計処理をする。3伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務の種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（1）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	試験の復習
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（2）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：50% <（課題）>：10%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式テキスト3級
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	ネットスクール株式会社
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集3級
	出版社	ネットスクール出版

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	情報処理 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	IT インストラクター、情報処理試験講師、ライター、Web ディレクター。現在は、主に明治大学非常勤講師、専門学校非常勤講師、企業研修講師を中心に従事。		

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」ローマ字による日本語 入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 1」フォント種、サ イズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成 1」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 2」フォントの色、 インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成 2」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習		事前学習	
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定		授業計画	
	事後学習	操作の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版
タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
出版社 FOM 出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	IT インストラクター、情報処理試験講師、ライター、Web ディレクター。現在は、主に明治大学非常勤講師、専門学校非常勤講師、企業研修講師を中心に従事。		

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）希望者は MOS Excel を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	前回の操作の復習	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「データ保護」セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RIGHT・MID		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版
 タイトル Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集
 出版社 FOM 出版

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	社会常識 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
社会常識は、社会人として身につけておきたいものですが、大人でも意外と知らないことも多いものです。常識を知らなかったがゆえに恥をかいたり、ひどい時には犯罪に巻き込まれることも。この講義では社会人として身につけておきたい常識について学びこれからの人生に役立ててもらいたいと思います。
達成目標
社会常識を身につけ、実生活に役立てる。 自立生活の基本である家事や金銭管理、契約等について学び、自立する準備を整える。
学修成果
社会常識を身につけることで、自立する自信をつける。 家庭の中で家族の一員としての自覚を持ち、より積極的に自分にできる役割を果たせるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	オリエンテーション 講義概要の説明とグループワーク		授業計画	自立生活の基本⑧ ネット利用に関するマナーと法制度
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本① 洗濯と干し方(衣類別使用洗剤と洗濯表示)		授業計画	自立生活の基本⑨ 防災の基本と救急法の基礎知識
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本② ゴミの出し方(分別と地域性、ごみのゆくえ)		授業計画	自立生活の基本⑩ 様々な契約とクーリングオフ制度
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本③ 料理の基本(栄養の基礎知識と献立計画)		授業計画	自立生活の基本⑪ 水道光熱費の仕組みと節約術
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本④ 料理の基本(調理実習)		授業計画	自立生活の基本⑫ 税の基礎知識と困ったときに使える国の制度
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本⑤ 掃除の方法(整理整頓・場所別掃除方法)		授業計画	前期講義内容の復習 おさえておきたい社会常識
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	自立生活の基本⑥ 金銭管理の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	自立生活の基本⑦ 引っ越しにかかわる準備と常識			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <(課題)>：30%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義の目的は2つある。1つは異文化理解を体系的に学習し、円滑な異文化理解に必要な自文化の理解、異文化への寛容な態度を身につけることである。もう1つは「ユニバーサルマナー」概要を学び、多くの異なる人々への配慮ある適切な行動を身につける基礎を学習することである。
達成目標
異文化理解に必要な体系的知識を身につけ、異文化とは何かを自らの頭で考え説明できるようになる。異文化に興味・関心を持ち、円滑な関係を築き、ユニバーサルマナーを身につける。
学修成果
異文化コミュニケーションとは何かを自分の頭で考え、日常生活において主体的に実践できるようになる。ユニバーサルマナー検定3級を取得する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	生活マナー情報収集
	授業計画	異文化理解①異文化定義、世界と日本の多様化現状		授業計画	ユニバーサルマナー①日本を取り巻く環境と概要理解
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
2	事前学習	異文化課題プリント①	10	事前学習	ユニバーサルマナー課題プリント①
	授業計画	異文化理解②トータルカルチャーとサブカルチャー		授業計画	ユニバーサルマナー②多様性理解「もしも世界が100人の村だったら」
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
3	事前学習	異文化課題プリント②	11	事前学習	調査準備
	授業計画	異文化理解③異文化疑似体験ワーク「バーンガ」		授業計画	課外活動：街のユニバーサルマナー、デザイン調査
	事後学習	講義内容確認		事後学習	レポート作成
4	事前学習	異文化課題プリント③	12	事前学習	ユニバーサルマナー課題プリント②
	授業計画	異文化理解④異文化の認識ワーク「レスカの学び」		授業計画	ユニバーサルマナー③街のユニバーサルデザイン
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
5	事前学習	異文化課題プリント④	13	事前学習	ユニバーサルマナー課題プリント③
	授業計画	異文化理解⑤異文化適応「U字曲線とカルチャーショック」		授業計画	ユニバーサルマナー④企業によるユニバーサル実践
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
6	事前学習	異文化課題プリント⑤	14	事前学習	ユニバーサルマナー課題プリント④
	授業計画	異文化理解⑥自己理解「ジョハリの窓、自己意識チェック」		授業計画	ユニバーサルマナー⑤関係法律の理解と街の取り組み
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
7	事前学習	異文化課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	異文化理解⑦非言語コミュニケーション「異文化動作トレーニング」		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容確認		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	異文化課題プリント⑦			
	授業計画	異文化理解⑧アサーティブコミュニケーション			
	事後学習	レポート作成			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（課題）>：20%

教科書 著者名 講師配布資料

参考書
タイトル
出版社
著者名
タイトル
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	異文化コミュニケーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義の目的は学生が卒業後、社会人として共生社会の一員となるべく知識及びスキルを習得することである。そのため、異文化コミュニケーションⅠで学習した「ユニバーサルマナー」の学習を通じて、社会人として多様な人々との人間関係構築及び仕事や生活面での適切な行動ができるスキル習得を目指す。
達成目標
多様な人々が存在することを認識し、受け入れることができる。ユニバーサルマナーを理解し、特に社会的マイノリティとされる人々へ TPO に応じた適切なサポートができる。
学修成果
異文化コミュニケーションとは何かを自分の頭で考え、日常生活において主体的に実践できるようになる。ユニバーサルマナー検定 3 級を取得する。

授業計画

1	事前学習	前回講義内容確認	9	事前学習	前回講義内容確認
	授業計画	オリエンテーション：概要説明、異文化コミュニケーション意義		授業計画	聴覚障害者対応③街角、店員サポート ロープレ、手話体験
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	講義内容復習と実践
2	事前学習	前回講義内容確認	10	事前学習	前回講義内容確認
	授業計画	異文化理解復習：定義、自文化理解、他文化受容の必要性		授業計画	肢体不自由者対応①基礎知識理解、杖を使つてのサポートトレーニング
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	講義内容復習と実践
3	事前学習	前回講義内容確認	11	事前学習	前回講義内容確認
	授業計画	ユニバーサルマナー復習：定義、街や企業の取り組み		授業計画	肢体不自由者対応②車イスの機能理解、車イスサポートトレーニング
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習と実践
4	事前学習	前回講義内容確認	12	事前学習	前回講義内容確認
	授業計画	視覚障害者対応①基礎知識の理解、点字体験、色覚障害の視界体験		授業計画	高齢者対応①基礎知識理解、専用スーツ・イヤホンでの高齢者体験
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	講義内容復習と実践
5	事前学習	前回講義内容確認	13	事前学習	イベント準備
	授業計画	視覚障害者対応②補助犬の現状、店員サービスクロックポジション		授業計画	課外活動：高齢者・障害者向けスポーツ体験&サポート実践
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	レポート作成
6	事前学習	調査準備	14	事前学習	外国人現状情報収集
	授業計画	課外活動：補助犬育成センター見学(インタビュー、調査)		授業計画	外国人対応①：基礎知識の理解、ジェスチャー・標識の国際比較
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習と実践
7	事前学習	活動振り返り	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	聴覚障害者対応①基礎知識の理解、筆談体験、ジェスチャー体験		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	前回講義内容確認		事前学習	
	授業計画	聴覚障害者対応②聞こえない世界街のケーススタディ討論		授業計画	
	事後学習	講義内容復習と実践		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題) >：20%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	時事研究 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備としての講義である。知識レベルとしては主にニュース時事検定 4 級・5 級の時事知識理解を目標とする。
達成目標
ニュース時事検定 4 級取得に必要な時事知識を理解すること。その知識を活用して自身の意見を口頭又は文章で表現できるようになることを目標とする。
学修成果
国内外の一般的な時事知識を理解できる。その知識をインターネット等メディアを利用して情報収集できる。また活用して就職活動や社会に出た場面で自身の意見を言うことができる。

授業計画

1	事前学習	最新時事情報収集	9	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	近代時事 2021 日本時事①事例ニュース紹介&討論		授業計画	課外活動: 国会議事堂見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題
2	事前学習	最新時事情報収集	10	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	近代時事 2021 日本時事②事例ニュース紹介&討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表準備(スライド、セリフ作成)
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題
3	事前学習	最新時事情報収集	11	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	近代時事 2021 日本時事③事例ニュース紹介&討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表、評価、FB
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題
4	事前学習	最新時事情報収集	12	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	歴史的時事①日本史前期(調査・討論・事例紹介)		授業計画	振り返り(時事ニュースを就活で活かす対策)
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題
5	事前学習	最新時事情報収集	13	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界(欧米)調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策 4 級①政治/経済/暮らし(過去問実践)
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題
6	事前学習	最新時事情報収集	14	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①コロナについて(調査、討論、事例紹介)		授業計画	ニュース検定対策 4 級②社会・環境/国際(過去問実践)
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	最新時事情報収集	15	事前学習	試験準備
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の政治(調査、討論、事例紹介)		授業計画	定期試験
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	最新時事情報収集		事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の政治(調査、討論、事例紹介)		授業計画	
	事後学習	ニュース検定 4 級程度問題課題		事後学習	

評価方法 出席状況: 20% 定期試験: 50% <(課題)>: 30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 日本時事能力検定協会監修
タイトル 2021 年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」入門編
出版社 毎日新聞出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は国内の時事問題に焦点を当てて、少子高齢化をはじめとした日本の抱える諸問題についての理解を深め、視野を広げた上で日本の将来を具体的に予測し解決策を模索、日本社会を生き抜くためにどう行動すべきかの準備をする講義である。
達成目標
現在の少子高齢化をはじめとした日本の諸問題に対して深く理解をし、自身が将来の日本でどう生きるかを考え準備をすることできることを目標とする。
学修成果
日本の少子高齢化をはじめとした諸問題における時事知識を理解し、その知識をインターネット等メディアを利用し情報収集できる。それを就職活動や社会で活かすことができる。

授業計画

1	事前学習	最新時事情報収集	9	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題①旧安倍内閣政府目標より日本現状を考える		授業計画	日本における諸問題⑨男女格差と世界との比較
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題
2	事前学習	最新時事情報収集	10	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題②選挙制度と 18 歳成人		授業計画	日本における諸問題⑩震災の歴史と今後への備え
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題
3	事前学習	最新時事情報収集	11	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題③子育て制度と出産問題		授業計画	日米比較ハイオンライン講義①日米文化の違い
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題
4	事前学習	最新時事情報収集	12	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題④高齢化に伴う年金・医療問題		授業計画	日米比較ハイオンライン講義②政治と死刑制度
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題
5	事前学習	最新時事情報収集	13	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題⑤教育と不登校における今後		授業計画	日米比較ハイオンライン講義③最新時事比較
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題
6	事前学習	最新時事情報収集	14	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題⑥外国人労働者の増加と教育		授業計画	今後への提言：日本の未来への一石を投じる発表
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	最新時事情報収集	15	事前学習	試験準備
	授業計画	日本における諸問題⑦自殺問題とストレス疾患		授業計画	定期試験
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	最新時事情報収集			
	授業計画	日本における諸問題⑧働き方改革とワークライフバランス			
	事後学習	ニュース検定 3 級程度問題課題			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：30% < (課題) >：50%

教科書 著者名
タイトル
出版社

参考書 著者名
タイトル
出版社

日本時事能力検定協会監修
2021 年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」入門編
毎日新聞出版

年度	2022年度	学期	前期
科目名	キャリア形成論 I	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は、多様な価値観の混在する世界の中で生き抜くために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。社会で自立するため、そして周囲の人を助けられるような人になることを目指し、計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実践ワークを通じ学んでいく。
達成目標
PDCAの実践を通じた個々の目標の達成で自信をつける。対話や会話、文章表現を通して自分と他者の違いに気づき、多様な価値観を理解し受容する。他者と協働する力を身につける。
学修成果
計画性と実践力をつけ自信がもてるようになる。コミュニケーション力をあげ、主体性をもって自分と価値観の違う他者と協力して物事を進めることができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	オリエンテーション 講義内容、到達目標説明		授業計画	こころの仕組みについて⑥ 適切な自己表現を身につける
	事後学習	目標について考えてくる		事後学習	講義内容の復習と実践
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	目標達成シート作成と発表 キャリアについての事例紹介		授業計画	社会のルールとマナーについて グループワーク
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	グループワーク 生活記録表についての説明		授業計画	人とのつながりと距離について考える グループワーク
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	生活記録の発表と振り返り こころのしくみについて①		授業計画	これからの人生について考える グループワーク
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	こころの仕組みについて② 行動活性化のワーク		授業計画	事実と推測を区別しよう① グループワーク
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	こころの仕組みについて③呼吸法と リラクゼーション法実践 グループワーク		授業計画	事実と推測を区別しよう② 前期講義内容復習
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義ノート見直し
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	講義内容復習
	授業計画	こころの仕組みについて④ バランス思考を身につける		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	試験内容振り返り
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	こころの仕組みについて⑤ ストレス対処を身につける			
	事後学習	講義内容の復習と実践			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題) >：20%

教科書 著者名 講師配布プリント

タイトル

出版社

参考書

著者名 西村宣幸

タイトル

出版社

ソーシャルスキルが身につくレクチャー&ワークシート、コミュニケーションスキルが身につくレクチャー&ワークシート
学事出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	キャリア形成論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は、多様な価値観の混在する世界の中で生き抜くために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。社会で自立するため、そして周囲の人を助けられるような人になることを目指し、計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実践ワークを通じ学んでいく。
達成目標
PDCA の実践を通じた個々の目標の達成で自信をつける。対話や会話、文章表現を通して自分と他者の違いに気づき、多様な価値観を理解し受容する。他者と協働する力を身につける。
学修成果
計画性と実践力をつけ自信がもてるようになる。コミュニケーション力をあげ、主体性をもって自分と価値観の違う他者と協力して物事を進めることができるようになる。

授業計画

1	事前学習	前期学習内容プリントの見直し	9	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	前期講義内容の復習 自己イメージと目標確認		授業計画	応募書類の作成② 伝わる書類作成のポイント
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成
2	事前学習	自分の悩みの切り出し	10	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する① 人の話を聴く力と基本的信頼感について		授業計画	応募書類の作成③ 志望動機・自己PRの書き方
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
3	事前学習	自分の安心体験の切り出し	11	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する② 人と温かくかかわる&事実の正確な理解		授業計画	応募書類の作成④ 応募書類内容の見直しとまとめ
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
4	事前学習	講義資料の事前熟読	12	事前学習	作成した応募書類の読み込み
	授業計画	自分を客観視する③人と温かくかかわる&感情と願望の受けとめ方		授業計画	面接対策①面接で大切なこと、実践ワークと振り返り
	事後学習	講義内容の復習と自身の振り返り		事後学習	面接実践内容の復習
5	事前学習	講義資料の事前チェック	13	事前学習	面接練習
	授業計画	悩みを相談する 進路について相談する&自分の目標の明確化		授業計画	面接対策② 集団面接練習。過去学習内容の実践。
	事後学習	自身の進路の悩みまとめ		事後学習	面接練習内容の復習
6	事前学習	講義内容の下調べ	14	事前学習	後期学習内容資料の整理
	授業計画	働き方について知る 企業・業種・職種についての基本情報の理解		授業計画	後期講義内容の復習 自身の目標到達状況の振り返り
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	後期講義内容の復習
7	事前学習	自分の興味ある会社チェック	15	事前学習	定期試験対策学習
	授業計画	会社について知る 企業研究の意味と情報収集の方法		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容をふまえた企業研究		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	応募書類必要物の収集と準備			
	授業計画	応募書類の作成① 履歴書・自己紹介シートの書き方			
	事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題) >：20%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名 西村宣幸

タイトル

出版社

ソーシャルスキルが身につくレクチャー&ワークシート、コミュニケーションスキルが身につくレクチャー&ワークシート
学事出版

年度	2022年度	学期	前期
科目名	課程演習 I	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	杉村 寿重		
実務経験 教員紹介	ITエンジニア12年、ITプロジェクトマネジメント20年、企業研修講師（技術/マネジメント/他）11年、大学/大学院/専門学校講師9年、経営コンサルティング9年		

講義概要
私たちは日々、意思決定を繰り返していますが、時間をかければ必ず良い判断ができるわけではありません。現代のように変化が激しい社会環境においては、瞬時に意思決定をする能力が重要です。時間を掛けずに、ストレスを抱えずに、納得のいく意思決定ができるようになる授業です。
達成目標
少ない情報と時間で、「ある一定品質の意思決定」を行うためのノウハウやスキルを身に付けて、キャリアデザインに活用できるようになる。
学修成果
意思決定ツールのブレイン・コネクトが、自分でも使えるようになり、自らの問題の意思決定が素早く、かつ高い品質でストレスなくできるようになる。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	意思決定とは？		授業計画	インプロヴィゼーション、デザイン思考、発想法
	事後学習	自分の意思決定を振り返る		事後学習	デザイン思考をやってみる
2	事前学習	教科書の読み直し	10	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	世の中の意思決定手法		授業計画	意思決定ケース課題演習1
	事後学習	自分の意思決定を振り返る		事後学習	自力でブレイン・コネクトを実行
3	事前学習	教科書の読み直し	11	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	意思決定手法「ブレイン・コネクト」とは		授業計画	意思決定ケース課題演習2
	事後学習	ブレイン・コネクトを使ってみる		事後学習	自力でブレイン・コネクトを実行
4	事前学習	教科書の読み直し	12	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	意思決定が必要な課題のステークホルダーを洗い出す		授業計画	意思決定ケース課題演習3
	事後学習	ブレイン・コネクトを使ってみる		事後学習	自力でブレイン・コネクトを実行
5	事前学習	教科書の読み直し	13	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	ステークホルダー毎のPainとGainを洗い出す		授業計画	意思決定ケース課題演習4
	事後学習	ブレイン・コネクトを使ってみる		事後学習	自力でブレイン・コネクトを実行
6	事前学習	教科書の読み直し	14	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	時系列/重要度/緊急度でステークホルダーのPainとGainを整理		授業計画	意思決定まとめ
	事後学習	ブレイン・コネクトを使ってみる		事後学習	全講義の復習
7	事前学習	教科書の読み直し	15	事前学習	教科書の読み直し
	授業計画	意思決定へのつなぎ方 上手く意思決定に繋がらない場合の原因		授業計画	定期テスト意思決定ケース（課題作成）
	事後学習	ブレイン・コネクトを使ってみる		事後学習	課題の振り返り
8	事前学習	教科書の読み直し			
	授業計画	小テスト（課題作成）			
	事後学習	課題の振り返り			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：40% <（課題提出）>：40%

教科書 著者名 杉村寿重、他
 タイトル たった1枚の紙で誰でも意思決定できてしまうブレイン・コネクト
 出版社 三恵社

参考書 著者名 株式会社インクルージョン
 タイトル ブレイン・コネクト（意思決定のフレームワーク）ブログ
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義は 2 つ目的がある。まず国内で観光ガイドのできる国内旅程取扱い管理主任者の資格を取ること。次に観光職業における学習を通して、他科目で学習しているマナーやホスピタリティ等を実践で使うイメージを形成することである。本講義を通して、学習を職業実践につなげていくことを狙いとしている。
達成目標
国内観光地における名所や状況等を理解すること。観光業における知識及びマナーやビジネススタイルを理解し、職業イメージを形成すること。
学修成果
観光における必要知識を習得し、国内旅程取扱い管理主任者の資格を取得すること。学校での学習を実践に結び付けるためのイメージ形成ができ、今後職業観を養えること。

授業計画

1	事前学習	テキスト予習	9	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款①標準旅行業の約款について		授業計画	国内バスツアー研究①企画旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
2	事前学習	テキスト予習	10	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款②標準旅行業の約款について		授業計画	国内バスツアー研究②手配旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
3	事前学習	テキスト予習	11	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款③国内旅客運送約款について		授業計画	国内バスツアー研究③団体旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
4	事前学習	テキスト予習	12	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款④旅行におけるモデル宿泊約款について		授業計画	JR の運賃：料金の基礎・特例・割引等について
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
5	事前学習	テキスト予習	13	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款⑤貸切バス・フェリー運送約款について		授業計画	国内線の運賃：料金の基礎・特例・割引等について
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
6	事前学習	テキスト予習	14	事前学習	テキスト予習
	授業計画	国内観光における地理①（北海道・東北地方）		授業計画	JR の切符・E チケットの読み方と受付対応の注意
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	テキスト予習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	国内観光における地理②（関東・東海・関西地方）		授業計画	期末試験
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	期末試験振り返り
8	事前学習	テキスト予習			
	授業計画	国内観光における地理③（四国・九州・沖縄地方）			
	事後学習	観光地情報確認			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（受講態度）>：20%

教科書 著者名 テキスト使用予定

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	特別演習 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義は社会人基礎力の向上を焦点にあて、学生生活への適応及び卒業後の社会人としての基礎力を定着させることを目的とする。そのため、学生生活に必要なノートテイキングや計画力、ストレスコントロール力など人間性を育成する学習を幅広く行っていく。
達成目標
コミュニケーション力や情報収集力、協調性等社会人基礎力に焦点を当て幅広く身につけ、今後の学生生活や社会人生活に適応するスキルを身につける。
学修成果
コミュニケーション力、計画力、主体性、協調性等学生生活や社会生活で必要となる基礎スキルを身に着けられる。それを活用して学生生活に適應できる。

授業計画

1	事前学習	時事ニュース視聴	9	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	講義概要：社会人基礎力とは（必要なスキルの確認）		授業計画	社会人基礎力：ストレスコントロール力（マインドフルネス）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	講義課題プリント
2	事前学習	時事ニュース視聴	10	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	学生生活適応：ノートテイキング、文書作成		授業計画	社会人基礎力：考え抜く力（ロジカルシンキング）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	講義課題プリント
3	事前学習	時事ニュース視聴	11	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	学生生活適応：マナー及び進路決定に向けた準備		授業計画	社会人基礎力：考えぬく力（ビジネスフレームワーク）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	講義課題プリント
4	事前学習	時事ニュース視聴	12	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	社会人基礎力：傾聴力（あいづちと雑談コミュニケーション）		授業計画	社会人基礎力：考え抜く力（ゲーム理論実践）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	講義課題プリント
5	事前学習	時事ニュース視聴	13	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	社会人基礎力：発信力（アサーションと会話構成）		授業計画	社会人基礎力：前に踏み出す力（グループ演習 1）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	講義課題プリント
6	事前学習	時事ニュース視聴	14	事前学習	時事ニュース視聴
	授業計画	社会人基礎力：柔軟性（留学生との異文化交流）		授業計画	社会人基礎力：前に踏み出す力（グループ演習 2）
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	試験準備
7	事前学習	時事ニュース視聴	15	事前学習	試験準備
	授業計画	社会人基礎力：状況把握力（メディアリテラシー）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義課題プリント		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	時事ニュース視聴			
	授業計画	社会人基礎力：ストレスコントロール力（論理療法）			
	事後学習	講義課題プリント			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（課題）>：30%

教科書 著者名
タイトル
出版社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリア・クエスト専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は通常講義での基礎学習を伸ばすべく、好奇心を育成し、スキル向上の目標として資格取得を推奨する狙いがある。そのため、前半に目標設定をすべく好奇心育成のきっかけとなる体験型講義を実施、後半に対象資格対策講義を予定している。
達成目標
通常講義での学習を向上させる手段として資格取得を目標とした学習習慣を身につける。マナー力向上をすべく、資格取得を目標に継続した学習をすることができる。
学修成果
資格学習を通して目標達成のための計画性及びマナーへの知識を深められる。また、それを活かして今後の就職活動や社会人生活への実践適応ができる。

授業計画

1	事前学習	マナー講義内容整理	9	事前学習	マナー課題プリント⑧
	授業計画	講義オリエンテーション：意義、学習内容、学習の流れ		授業計画	秘書検定①（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	マナー課題プリント①	10	事前学習	マナー課題プリント⑨
	授業計画	マナー復習：敬語、動作、ビジネス場面、接遇場面		授業計画	秘書検定②（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	マナー課題プリント②	11	事前学習	マナー課題プリント⑩
	授業計画	マナー体験学習①校内事務職員マナー体験講座		授業計画	ビジネス実務マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント③	12	事前学習	マナー課題プリント⑪
	授業計画	マナー体験学習②現役企業人マナー体験講座（NPO 法人紹介）		授業計画	ビジネス実務マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	マナー課題プリント④	13	事前学習	マナー課題プリント⑫
	授業計画	マナー体験学習③元 CA 一流のマナー体験講座		授業計画	接遇マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	マナー課題プリント⑤	14	事前学習	マナー課題プリント⑬
	授業計画	マナー関連資格：資格概要（試験内容、取得条件、学習法）		授業計画	接遇マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	マナー課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	社会人常識マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	マナー課題プリント⑦			
	授業計画	社会人常識マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（課題）>：30%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

